

響想の社会をめざして

令和6年能登半島地震

出前プレーパークinのと

依頼があれば遊び道具などを持って出向く「出前プレーパーク」。能登半島地震の被災地にも昨年度3月に出向きましたが、今年度も子ども家庭庁のNPO等と連携した子どもの居場所づくり支援モデル事業の助成を受けて、7月と8月にも行って来ました。これは西宮市で国有地プレーパークを運営するにしのみや遊び場つくろう会との共催です。

7月12日は輪島市河井町のかわい保育園の依頼で、園庭で園児たちと思いつきり遊びました。倒壊を免れた同園は、地震発災後の幼児一時預かり所のひとつとして輪島市内の幼児を預かりました。今年4月からは再開できない市立保育園園児も入園して、1~5歳児60人の園児で保育を再開。5月に初めて同園を訪れた際に3月の七尾市での出前プレーパークの話をすると、園長先生が「園庭でしませんか」と言われ、今回の開催となりました。当日は4人のお父さんたちもスタッフとして参加し、園庭全部を使ったみずでっぽう遊びや、絵の具ベタベタの絵の具遊びなど、全身を使って外遊びを楽しみました。夏休みに入った8月8日は七尾市中島小学校放課後児童クラブ、9日は千野町の認定子ども園ひまわりの依頼でした。今回は西宮市の小学生5人と4歳児1人が同行し、彼らが準備など運営も手伝って現地の子ども達と交流しました。中島小学校児童クラブでは西宮の子ども達はすぐに現地の子ども達と打ち解け、今回も随所で楽しそうな交流が見られました。皆でしたスイカ割も楽しく、スイカをほおばる子どもたちの笑顔が印象的でした。



認定子ども園ひまわりは震災で園庭が崩れて充分外遊びが出来ていない現状ですが、今回は中庭を中心にスラックラインやシャボン玉や水遊びをしました。同園とは発災直後の1月に訪れて以来園児との交流などが続いていますが、今回の出前プレーパークで初めて園庭で遊びました。仮設トイレや狭い園庭での遊びなど地震発生以来不便を強いられている子ども達ですが、素直な子ども達と彼らに笑顔で接しておられる先生たちが素敵でした。能登半島地震被災地出前プレーパークは今年度あと2回ほど実施する予定で、単発のイベントながら被災地の子ども達が居場所と感じられるような場にしたいと思っています。

【阪神淡路大震災時のお札を…】

8月10日は輪島市を訪れました。宿泊した志賀町から輪島市までの道路は開通していますが、まだ陥落した後が残っています。また輪島市街の倒壊した家屋や火事の現場の様子に子ども達は唖然としていました。今回の目的は西宮で集めた募金を輪島市青年会議所に手渡すことでした。同会議所は阪神淡路大震災の夏休みに、西宮の子ども達80人近くを会員宅でのホームステイやお祭り体験などで癒してくれました。当時校区子ども会代表として付き添いましたが、子ども達の感想などの資料と共に復興の一助にと手渡しました。(NVNAD理事 米山清美)



- contents -

- P1 令和6年能登半島地震 出前プレーパークinのと
- P2 Vision1.17&理事長再任／第5回シンポジウム／お知らせ・第6回シンポジウム
- P3 能登半島地震現地ボランティア／能登半島地震活動報告会／ひまわり祭り＆高瀬舟祭り
- P4~5 第26回NVNAD通常総会報告
- P6 防災×食 ミニフェスタ／ココロープ／子ども防災クラブ／近畿労金贈呈式
- P7 Nうごき・Nごよみ／大阪マラソン2025お知らせ
- P8 会員・寄付者・募金者のみなさま／支援のお願い／編集後記

Vision 1.17 & 理事長再任

暑い毎日が続いておりますが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。いつもNVNADをご支援いただき誠にありがとうございます。

さて、先日の会員総会で役員改選が行われ、再び理事長を務めさせていただくことになりました。NVNADとしましては、阪神・淡路大震災から30年を迎えるこの時期に、活動の方針、団体運営のあり方などを改めて見直し、これから社会に少しでもお役に立てるすることを目指していきます。私では心許ないと自覚するばかりですが、会員の皆様、事務局スタッフ、そして理事の方々に支えていただきながら前に進んでいきたいと考えております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

あと数ヶ月に迫りました阪神・淡路大震災30年では、お亡くなりになった方々に想いを馳せ、傷を負われた方々の癒えることを改めて願い、そして、今も苦しみの絶えない方々の傍で共にありたいと思います。それが私たちの原点です。現在、皆様からのご支援を頂戴し、毎回テーマを絞って連続シンポジウムを開催しておりますが、その成果をきちんと整理したいと思います。そして、30年の間お世話に

なって参りました全国各地の皆様にどのように感謝の気持ちをお伝えすることができるのかしっかりと検討して参ります。これまでの活動を振り返り、次の30年に向けたヴィジョンを提示する機会とさせていただきます。会員の皆様からアイデアやご要望、ご意見を頂ければ幸いに存じます。

今年の秋は、9月21日に台湾集集大地震25年、10月23日に新潟県中越地震20年を迎えます。それぞれ長い時を越えて想いを響き合わせてきたことを大切にし、これから安心で安全な地域社会を築いて行くきっかけになればと願っております。

もちろん、能登半島での活動は継続して参ります。現在でも、まだなかなか復旧・復興へとスムーズには進めない状況にあります。仮設住宅と周辺地域での活動に集中しておりますが、今後は復興に向けた活動にも力を注いで参ります。最後になりましたが、南海トラフ地震臨時情報の有無にかかわらず、日頃の備えの再点検を進めるため、多くの皆様との日頃からのコミュニケーションを大切に活動していきたいと思います。これからもNVNADらしい活動を展開して参りたいと考えております。改めまして、引き続きご支援のほどお願ひ申し上げます。

(NVNAD理事長 涩美公秀)

第5回シンポジウム

あれから30年
NVNAD2025プロジェクト
～みんなが助かる社会をめざして～



6/30(日)に西宮市民会館にて「さわって知る防災～視覚にハンディを持った方の防災～」をテーマに第5回NVNADシンポジウムを開催しました。理事の萩野茂樹がコーディネーターとなり、パネリストには、全盲の文化人類学者の広瀬浩二郎先生(国立民族学博物館教授)、障害者、障害者団体の被災地支援について研究されている石塚裕子先生(東北福祉大学教授)が登壇していただきました。石塚先生からは防災や復興のまちづくりの時に重要なのは当事者の意見がとても大事であり、多様な方々が学び・考え・行動する場が必要であること、広瀬先生からは失明したことによる「治らない」ことから「得暗」となる考えについて紹介いただき、ハンディがあることへのポジティブな考えをお話しいただき、より多様な生活への対応の重要性について紹介しました。また萩野からはさわるハザードマップや実際に障害をお持ちの方との避難訓練や防災イベントを紹介し、これから起こる災害についての実践的なお話しをしました。今回のシンポジウムで、障害者の方々や多様な問題で困られている方々が、安心して過ごせる社会について皆さまと一緒に考える機会になれましたら幸いです。

お知らせ

第6回シンポジウム

日 時: 11月4日(月)14時～16時 場所: 西宮市民会館 中会議室401

テーマ:「大人が子どもを守ること、子どもが自分を守ること」

当団体の理事の米山 清美がコーディネーターを務め、実際に災害に遭われた保育園などの関係者の方に参加いただき、これから子どもを取り巻く防災について皆さまと共有するシンポジウムになります。皆さまのご来場をお待ちしております。

==能登半島地震現地ボランティアwith関西学院大学==

関西学院大学ヒューマン・サービス支援室企画の現地ボランティアに、コーディネーターとしてスタッフも一緒に同行してきました。第1回目は5/27(土)～28日(日)、第2回目は6/22(土)～23日(日)、第3回目は8/6～8日の日程で、石川県七尾市中島町で活動を行いました。交通手段としてはJR大阪駅に集合し、電車でJR金沢駅まで移動し、そこからマイクロバスで現地に入りました。



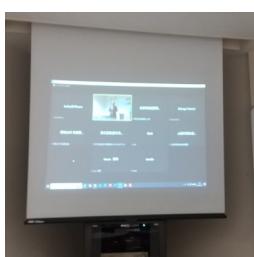
参加メンバーは、第1回目が関西学院大学の学生12名と教職員4名、NVNAD職員2名の18名。第2回目が学生12名と教職員6名、西宮市社会福祉協議会職員2名、NVNAD職員2名の22名。第3回目が学生14名と教職員5名、NVNAD職員1名の20名でした。活動としては、地元にある新町会館をお借りして、隣接する仮設団地にお住いの方々をはじめ、新町地区の皆様にもお声を掛けさせていただき、交流イベントを開催しました。具体的なプログラムは、高山堂さんの和菓子や西宮市社会福祉協議会さんから提供いただいたタコせんなどお菓子を食べながら茶話会を開催したり、流しそうめんを実施したり、うちわ作りや将棋、あるいは、子どもたちとかけっこやプラフープやボードゲームなど大学生と子どもたちが遊べるプログラムなども実施しました。宿泊は羽咋市にある国立能登青少年交流の家を利用し、夕食後は参加者全員でふりかえりと翌日の活動予定の確認を行いました。



2～3日間と短い時間ではありましたが、仮設団地の方だけではなく、近隣の被災された皆さんとも交流する機会の大切さや必要性を改めて認識することができましたし、大学生が参加することで、高齢の方だけではなく、子どもたちにとっても、とても有意義で楽しいひと時になったのではないかと思います。今後もこのような交流活動を継続していくべきだと思っています。支援室の皆様、色々とお世話になりました。

能登半島地震活動報告会

6/16(日)に西宮市大学交流センターにて「令和6年能登半島地震 チーム能登活動報告会」を開催しました。今回の報告会では元日の発災からこれまでの能登半島での被害状況や活動について、またこれからの課題やどのような支援をしていくかについて報告しました。



当日は当団体理事をはじめ、大阪大学、九州医療科学大学、東北福祉大学、福知山公立大学、福山市立大学、一般社団法人 NOTORNの関係者の報告と今後の活動の提案があり「被災地でのボランティアの受け入れについて」「被災地支援とNPO」「現地での活動拠点の重要性」「災害発生初動期の学生の被災地派遣事業について」「被災地における宗教者の活動」「被災地でのペットの対応」「被災地での障害者・団体による多様性と可能性」「避難所における月経対処支援」「被災地における子ども支援」についてお話をしました。今回の報告会では会場をはじめ、オンラインでもたくさんの方にご参加いただきました。今回の報告会が能登半島で被災された方々への、関心、支援につながる機会になれば幸いです。

ひまわり祭り&高瀬舟祭り

8月9日で水害から15年を迎える兵庫県佐用町にて、7月14日(日)には「ひまわりまつり」が、7月20日(土)には「高瀬舟まつり」が開催され、関西学院大学チャコネットの学生メンバーと一緒に参加してきました。南光地区で開催された「ひまわりまつり」では、水鉄砲を使って的当て遊びを担当し、久崎地区で開催された「高瀬舟まつり」では、ヨーヨー釣りとバルーンアートを担当しました。参加した子どもたちにとっては、夏休みのいい思い出になったのではないかと思います。



第26回NVNAD通常総会報告

第26回NVNAD通常総会は、2024年6月16日（日）西宮市において開催。提案された議案は原案通り承認され無事終了しました。

I. 第25期（2023年度）事業報告（2023.4.1～2024.3.31）

第25期（2023年度）を振り返ってみると、災害救援に関しては、5月には兵庫県伊丹市で川の氾濫による一部家屋の浸水や石川県珠洲市で地震があり、現地に先遣隊を派遣した。また、6月には和歌山県海南市で水害が発生し、NVNAD登録ボランティアと一緒に海南市災害ボランティアセンターを通して支援活動に関わった。そして、1月1日には能登半島地震が発生し、翌2日には役員とスタッフが事務所で緊急会議を開き、4日～8日に西宮市内3カ所（阪神西宮駅、JR西宮駅、阪急西宮北口駅）でそれぞれ街頭募金を、6日～8日には石川県能登半島へ先遣隊第1陣を派遣することを決定した。以後、3月末までに計15回、大阪大学などと連携しながら石川県内灘町、羽咋市、中能登町、七尾市、輪島市など現地に赴き、マフラーやカイロなど救援物資の運搬を中心に、避難所での支援活動や子どもたちへの遊びでの支援活動などを行った。その他、12月には西日本豪雨災害の被災地である倉敷市真備町を訪問し、地元の方から復興状況などについてお話を聞かせてもらいました。平常時の活動に関しては、活動の3本柱である①『防災まちづくり活動』として、子ども防災クラブの活動を3回実施した。②『講演・講座活動』は、コロナ禍が落ち着いてきたが、まだ通常に戻るには時間がかかるのか、コロナ前の依頼数には回復しなった。依頼先としては、西宮市社会福祉協議会や岬町社会福祉協議会、近畿ろうきんや甲子園短期大学などから継続した講演依頼があり、新規としては尼崎市消防局や西宮市甲東地区から依頼があった。自主事業では、乳幼児向けの防災アニメ「ももたろう」を活用した「親子防災講座」について、1月と2月に西宮市内の児童館2か所から依頼があり理事とスタッフを派遣した。また、泉大津市役所や堺市総合防災センターからは、防災アニメの使用についての問い合わせがあり、実際に説明に出向いた。ネットワーク事業については、ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）や、兵庫県災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議などに出席した。そして、OOS協定を結んでいる大阪大学（人間科学部/人間科学研究科）との関係では、7月に吹田市山田にあるEXPOシティでイベントが開催され、当団体は大阪大学災害ボランティアラボと連携して、「防災ウォークアリーナ」と災害食の展示コーナーを企画実施させてもらいました。その他の特記事項としては、11月には大阪梅田で第2回「防災パーク@そねちか」を開催し、2月には大阪マラソンのチャリティパートナーとしてチャリティランナーのサポートを今年度も行った。

- （活動事業実績）
1. 災害に関する講演、講座事業 30回
 2. 防災まちづくり事業（ワークショップ事業） 10回
 3. ネットワーク事業 14回
 4. 災害救援活動事業 28回
 5. その他の活動 10回

II. 第25期（2023年度）決算並びに第26期予算

科 目	第25期予算	第25期決算	第26期予算
I. 経常収益			
1. 受取会費	737,500	673,500	670,000
2. 受取寄付金	3,180,000	11,150,050	4,025,000
3. 受取助成金等	600,000	849,650	1,000,000
4. 事業収益	3,060,000	2,018,360	3,403,000
5. その他収益	1,850	1,979	1,850
経常収益計	7,579,350	14,693,539	9,099,850
II. 経常費用			
1. 事業費	12,308,856	13,598,743	14,055,838
2. 管理費	597,152	471,140	776,702
経常費用計	12,906,008	14,069,883	14,832,540
税引前当期正味財産増減額	-5,326,658	623,656	-5,732,690
法人税、住民税及び事業税	82,000	82,000	82,000
当期正味財産増減額	-5,408,658	541,656	-5,814,690
前期繰越正味財産額	12,903,854	12,903,854	13,445,510
次期繰越正味財産合計	7,495,196	13,445,510	7,630,820

III. 第26期（2024年度）事業計画（2024.4.1～2025.3.31）

災害支援関連では、令和6年能登半島地震の被災地である石川県能登半島に、継続的な支援活動を行いたい。特に今年度は、大阪大学などと連携して拠点を構えている七尾市をはじめ、輪島市や穴水町などへ、企業や大学などを連携しながら社会人や学生ボランティアと訪問し、家屋の片付け作業だけではなく、仮設住宅での交流イベントや子どもの遊びでの支援活動などにも関わっていきたいと考えている。また、コロナ禍で訪問を控えていた熊本地震や丹波市豪雨災害、あるいは西日本豪雨災害などの被災地にも訪問したいと思っている。また、今後南海トラフ巨大地震など新たに大規模な災害が発生した場合は、大阪大学や関係団体とも連携し救援活動を行いたい。

平常時の活動については、これまで同様①防災まちづくり活動、②講座・講演活動、③ネットワーク活動の3本柱を中心に継続して実施していく。引き続き財源確保の観点から自治会や地元団体を対象に、地区防災計画作成を視野に入れた「まちごと防災セミナー」の開催や、乳幼児向けの防災アニメ「ももたろう」を活用した、幼稚園や保育所、あるいは子育て支援グループを対象とした親子防災講座の実施を行っていきたい。

その他、2025年1月17日に阪神・淡路大震災から30年を迎えるにあたり、2023年9月から開催している「あれから30年 NVNAD2025プロジェクト」と題したシンポジウムを継続して5回開催予定である。また、来年1月にはシンポジウム以外に、30周年記念行事を企画開催する予定である。

I. 災害救援の活動

1. 救援活動

(1) 東日本大震災の支援活動

- ①被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市など）
- ②西宮市内での避難者支援活動（K S Nプロジェクト）
- ③野田村ファンクラブ

(2) 丹波市水害の支援活動

(3) 熊本地震・九州北部豪雨災害・

令和2年7月豪雨災害の支援活動

- (4) 西日本豪雨災害、台風19号豪雨災害の支援活動
- (5) 能登半島地震の支援活動
- (6) トルコ・シリア地震の支援活動
- (7) ココロープの支援活動

II. 次の災害に備えるための防災（広報・啓発等）の活動

1. 地域防災活動

- (1) 子ども支援事業（子ども防災クラブ、親子防災講座など）
- (2) 防災啓発事業

2. 防災意識高揚のための取り込み

- (1) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業
- (2) 講演等の受託事業

3. ネットワークの拡充

- (1) 全国災害救援ネットワーク（Jネット）総会
- (2) ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）
- (3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議

4. 新規・継続事業

- (1) 震災30周年事業（①NVNADシンポジウム、②30周年記念行事）
- (2) 避難所運営訓練（西宮市）
- (3) 乳幼児向けの防災アニメ啓発事業の企画
- (4) まちごと防災セミナーの企画
- (5) 防災グッズ＆災害食の啓発事業（阪大や企業との連携）

III. 災害救援準備金の取り扱い（2024.3.31現在）

緊急時の活動費用については、災害救援引当貯金を取り崩す。

災害救援引当貯金の残高合計：932,779円

（内訳：近畿労働金庫は476,469円、NVNADは456,319円）

IV. 役員選任について（案）

役員候補者

理事（再任）渥美 公秀

・・大阪大学大学院教授

〃（再任）池田 直樹

・・弁護士・関西学院大学教授

〃（再任）北村 英夫

・・さくらFM株式会社顧問

〃（再任）寺本 弘伸

・・常務理事

〃（再任）萩野 茂樹

・・デザイナー

〃（再任）檜垣 龍樹

・・尼崎市職員

〃（再任）山口 元

・・（社福）光朔会オリンピア理事長

〃（再任）矢守 克也

・・京都大学防災研究所教授

〃（再任）米山 清美

・・にしのみや遊び場つくろう会代表

〃（退任）奥田 和子

・・甲南女子大学名誉教授

*顧間に就任

監事（再任）岩瀬 哲正

・・公認会計士・税理士

〃（再任）鈴木 勇

・・大阪成蹊大学教授

防災×食 ミニフェスタ

7月28日(日)にNVNADでは、にしのみや遊び場つくろう会、西宮子育ちサポートひびと協力して、阪急西宮ガーデンズ無印良品のイベントスペースで防災×食ミニフェスタを開催しました。当団体は防災アニメももたろうを解説しながら上映。共済団体メンバーの管理栄養士や調理師が考案した防災食の実演試食もおこない、買い物に訪れた人たちも興味深そうに参加していました。これは共済団体の保護者達が企画運営を主体的に行い、無印良品がイベントスペースを貸してくれて実施しましたが、今後も「防災」を身近に感じるイベントとして継続していくならと思います。(NVNAD理事 米山清美)



ココロープ(うちわ作り)

6月2日、被災地支援のためのイベントを開催しました。今回の「手作りの会」は能登半島支援活動の一環として開催を決定。この夏に使っていただける「うちわ」を、色鮮やかに作っていただきました。手作りうちわは6月22日に現地で開催された茶話会にてお配りし、とても喜んでいただいたそうです。作っていただいた方の想いはお一人お一人への“涼の風”と共に届いたことでしょう。ご参加いただきました皆さん本当にありがとうございました。



子ども防災クラブ

7/27(土)、高木小学校にて、当団体スタッフと学生、社会人リーダーが集まり、子ども防災クラブ(Dクラブ)の活動を行いました。今回は、今年度最初のDクラブの活動になり、新3年生も5名参加してくれました。第1部は昨年の活動を紹介した後、防災クイズを行いました。第2部は、3年生は初顔合わせということもあり、楽しみながら自己紹介をしてもらうために、2班に分かれてito(協力会話ゲーム)とランキングアンケート、防

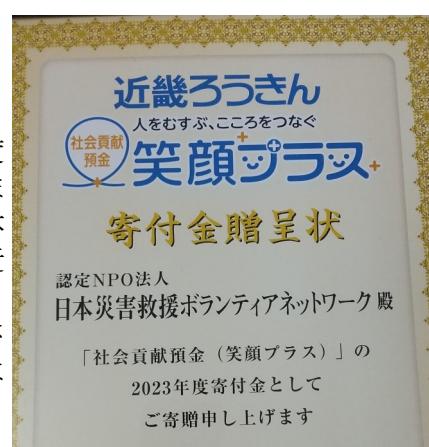


災クイズを組み合わせたプログラムを作り参加した皆さんに、ゲーム感覚で楽しく自己紹介や災害の知識を学んでいただきました。初めて顔を合わせるお子さん達でしたが、皆で協力しながらお題を解決し最後にはチーム一丸になって正解を目指していました。参加した子ども達が防災に興味を持ち、今後災害が起った時に、少しでも役に立ったと思ってもらえる活動になればと願っています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

近畿ろうきん

社会貢献 預金 笑顔プラス+

6月6日(木)、大阪肥後橋にある近畿ろうきん本社ビルにて、今年度の社会貢献預金「笑顔プラス」寄付金贈呈式が開催され、出席してきました。この「笑顔プラス」には、地区別団体(10団体)と近畿共通団体(2団体)の計12団体が寄付先団体として認定を受けており、当団体は近畿共通団体としてエントリーさせていただいている。この寄付金は、近畿圏内での災害支援をはじめ、日頃の防災・減災活動に有効に活用させていただいている。近畿ろうきんの職員および預金者の皆様に心より感謝申し上げます。



Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。（2024年5月～7月）

5月	9日	通常理事会(西宮市)
	10日	災害ボランティアセンター会議(西宮市)
	18日	NVNAD会計監査(西宮市)
	22日	西宮市みやっこ会議講演(西宮市)
	25～26日	能登半島地震支援活動(石川県)
6月	2日	ココロープ(西宮市)
	6日	近畿労働金庫贈呈式(大阪市)
	8日	自主防災組織講演会(西宮市)
	16日	NVNAD通常総会(西宮市)
		能登半島地震活動報告会(西宮市)
	22～23日	能登半島地震支援活動(石川県)
	30日	第5回NVNADシンポジウム(西宮市)
7月	1日	近畿ろうきん講座(明石市)
	3日	西宮市老人クラブ連合会(西宮市)
	7～8日	能登半島地震支援活動(石川県)
	12日	出前プレーパークinのと(石川県)
	13日	西宮市ボランティア連絡会講演(西宮市)
	14日	ひまわり祭り(佐用町)
	18日	近畿ろうきん講座(宝塚市)
	20日	高瀬舟まつり(佐用町)
	27日	第1回子ども防災クラブ(西宮市)
	28日	防災×食ミニフェスタ(西宮市)



Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

8月	6～8日	能登半島地震支援活動(石川県)
	8～10日	出前プレーパークinのと(石川県)
9月	20～22日	能登半島地震支援活動(石川県)
	19日	関西学院大学災害ボランティア体験講座(西宮市)
10月	6日	生協祭り(神戸市)
	19日	第2回子ども防災クラブ(西宮市)
11月	4日	第6回NVNADシンポジウム(西宮市)
	23日	夙川小学校避難所運営訓練(西宮市)



2月24日(月)開催

2025年2月24日に実施される大阪マラソンのチャリティパートナーに、今年度も当団体が選択されました。「大阪マラソン」を盛り上げていくと共に、防災・減災の大切さや寄付文化醸成の必要性を広く社会に発信していくたいと考えています。8月現在、6名のランナーさんが当団体【日本災害救援ボランティアネットワーク】をチャリティパートナーに選んでくださっています。当団体のホームページのトップページから 大阪マラソンチャリティパートナーをクリックしていただき、チャリティランナーさんを支援してください! で一覧が出てきます。皆さまのご支援&当日の応援を心よりお願い申し上げます!!

～会員・寄付者・募金者のみなさま～

(2024年5月1日～7月31日)

■会員のみなさま

個人正会員：「継続」梶 昌代、渥美直子、林 幹高、鶴田芳樹、花岡 豊、田中 正秀
ハツ塚としえ

個人賛助会員：「継続」小栗優子、谷孝大、御船 鋼、掛水須美枝、志賀龍二、青木邦博
青木博子、渥美久栄、渥美樹里、渥美杏奈、竹下養子、菅野秀徳
菅野好恵、宮城久代、大里恵子、武田育子、古菌康恵、山田和子
ハツ塚一郎、小溝健二、今井曜子、戸口始、戸口裕子、戸口京子
小山美帆、朝井朋子

法人正会員：「継続」株式会社GEOソリューションズ

団体正会員：「継続」宗教法人真如苑

■寄付者のみなさま ※ココロープ宛のご寄付も含みます。

宮城久代、掛水須美枝、梶 昌代、鶴田芳樹、深山操江、小溝健二、竹林順子、古菌康恵
古塚純枝、keyru、ちびくん、ひでぼー、ハツ塚一郎、ハツ塚としえ、ヤフー(株)

一般社団法人日本損害保険協会、御内眞理 (ふあんきい☆かんぱにー)

戸口始、戸口裕子、戸口京子、朝井朋子、朝井利彦、大阪マラソン、OSUSO
近畿ろうきん(NPO寄付システム、笑顔プラス)契約者の皆様、
ソフトバンクかざして募金(寄付者)の皆様

■募金者のみなさま

学校法人関西学院、祈り・夢・未来コンサートIV 飯田美奈子と素敵な音楽家たち

■ご協力いただいたみなさま 株式会社フェリシモ、株式会社高山堂、井村屋株式会社

社会福祉法人西宮市社会福祉協議会

関西学院大学ヒューマン・サービス支援室

皆さまのご支援に感謝申し上げます。どうもありがとうございます。

なお、お振込みくださった方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

NVNADを支えて下さい

皆様から頂いたご寄付は活動を継続していくために役立てて参ります。何卒ご支援くださいますようお願い申し上げます。

【振込銀行】三井住友銀行 西宮支店 普通 No.7833406 (名義)特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク

当団体は認定NPO法人ですので、いただいた寄付金は税制優遇を受けることが出来ます。

1月中旬～下旬に寄付金受領証明書を送付させていただきます。

銀行振込ではカタカナ名しか把握できませんので、お手数ですがご住所とお名前をお知らせ下さい。

TEL 0798(34)9011 FAX 0798(34)9022 e-mail:nishinomiya@nvnad.or.jp

編集後記

8月8日、宮崎県で震度6弱の揺れを観測したマグニチュード7.1の地震を受けて、南海トラフ地震の想定震源域で大規模地震への注意を呼びかける臨時情報（巨大地震注意）が、気象庁から初めて発令されました。以前から呼ばれてきた南海トラフ地震発生が現実味を帯びてきたのかもしれません。西宮でも地震直後にスーパーでは飲料水が売り切れたところもあったようですが、より一層日頃の備えを一人ひとりが行うことで、自分や家族の命や暮らしを守るだけではなく、地域や国全体の物資不足という混乱を少しでも減らすことにつながるのではないかと思っています。「今こそ備えよ！」です。（H・T）

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク [NVNAD]
〒662-0853 兵庫県西宮市津田町3-43 TEL 0798(34)9011/FAX 0798(34)9022
http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀